

## ○第2号議案 令和4年度石巻地方広域水道企業団予算

令和4年度予算は、東日本大震災に伴う復旧・復興関連事業及び旧簡易水道統合施設整備事業並びに既存施設の更新に係る改良事業に重点を置き、長期的な安定供給体制の確立と将来の経営基盤の再構築を基本に編成したところである。水需要動向については、給水人口の減少や新型コロナウイルスの影響による地域経済の低迷により、大幅な増収が見込めない大変厳しい経営環境が続くと思われる。今後も、なお一層の効率的経営に努めていく必要がある。

以下、令和4年度予算の概要については、次のとおりである。

### 1 災害復旧事業

東日本大震災に伴う災害復旧の主な工事等については、次のとおりである。

- (1) 災害復旧事業の保留解除による送・配水管布設(替)工事等
- (2) 関係機関の災害復旧事業に係る配水管布設(替)工事等

### 2 旧簡易水道統合施設整備事業

市町合併に伴う水道施設整備事業の一環として、平成19年度から平成28年度までの継続事業を進めていたものの、東日本大震災の影響により休止していた本事業の名称を旧簡易水道統合施設整備事業と改め再開し、令和元年度から令和4年度までの継続事業として継続費の総額及び年割額を設定したものである。なお、最終年度に当たる本年度の主な工事等については、次のとおりである。

- (1) 鮫浦ポンプ場築造工事
- (2) 網地島送水ポンプ場新設工事
- (3) 山鳥配水場築造工事

### 3 導・送・配水管整備事業

県・関係市の道路改良事業及び下水道事業と並行し、送・配水管の布設及び布設替工事を実施するほか、老朽化により漏水事故の絶えない配水管路の布設替など、次のとおり種別ごとの布設工事等を実施するものである。なお、施設の耐震強化を図るため、耐震管であるGX管を全面的に採用している。

- (1) 給水改善を目的とする配水管布設(替)工事
- (2) 老朽管改善を目的とする導・送・配水管布設(替)工事
- (3) 道路改良工事に関連する配水管布設(替)工事
- (4) 下水道工事に関連する配水管布設(替)工事

### 4 その他改良事業

送・配水管布設(替)工事以外の主な改良工事等は、次のとおりである。

- (1) 泊浄水場更新工事
- (2) 須江山浄水場法面整備工事
- (3) 湊配水場配水池耐震補強工事(その2)
- (4) 鹿又取水場須江山系沈砂池ほか詳細設計業務
- (5) 須江山浄水場設備コントローラ盤更新工事(その2)

- (6) 山崎ポンプ場場内整備工事
  - (7) 鮎川浄水場原水監視装置設置及び遠方監視装置機能増設工事
  - (8) 湊配水場No.1 流出弁更新工事
  - (9) 須江山浄水場受配電施設更新基本・詳細設計業務
  - (10) 相川配水系残留塩素計設置工事
- 5 水質の安定に係る施策
- 前年度に引き続き原水水質の変化に対応するため、粉末活性炭の注入を実施し、より安全で安定的な水道水の供給に努める。
- 6 その他の施策
- (1) 防災対策の一環として、組立式水槽等を購入し、応急給水資器材の整備と充実を図ることとした。
  - (2) 第9次漏水防止対策基本計画に基づき、引き続き各種漏水防止対策を実施することとした。
- 7 予算の内容
- (1) 第2条関係
    - 年間の業務量として、給水栓数を79,711栓、年間総配水量を22,685,000 m<sup>3</sup>、一日平均配水量を64,890 m<sup>3</sup>と予定しようとするものである。
    - 主要な建設改良事業として、災害復旧事業に357,127千円、旧簡易水道統合施設整備事業に664,542千円及び改良事業に2,601,291千円をそれぞれ予定しようとするものである。
  - (2) 第3条関係
    - 経営活動に伴い発生するすべての収益と、それに対応するすべての費用からなる収益的収入及び支出の予定額を定めようとするものである。
    - 収益的収入の第1款事業収益は6,621,342千円となり、前年度予算額と比較し339千円、率にして0.01%の収入減として予定しようとするものである。(詳細は予算説明書関係参照)
    - 一方、収益的支出の第1款事業費用は6,315,141千円となり、前年度予算額と比較し156,999千円、率にして2.55%の支出増として予定しようとするものである。(詳細は予算説明書関係参照)
  - (3) 第4条関係
    - サービスの基本である水道水の長期安定供給体制の確立を目指し、施設の拡充整備等に要する建設改良費と、その財源としての資金、現有施設の改良等に要した企業債の元金償還金等からなる資本的収入及び支出の予定額を定めようとするものである。
    - 資本的収入の第1款資本的収入は914,728千円となり、前年度予算額と比較し1,322,810千円、率にして59.12%の収入減として予定しようとするものである。(詳細は予算説明書関係参照)
    - 一方、資本的支出の第1款資本的支出は4,357,566千円となり、前年度予算額と比較し981,204千円、率にして18.38%の支出減として予定しようとするものである。(詳細は予算説明書関係参照)

細は予算説明書関係参照)

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 3,442,838 千円は、減債積立金 398,906 千円、建設改良積立金 1,167,166 千円、過年度分損益勘定留保資金 211,912 千円、当年度分損益勘定留保資金 1,346,027 千円及び当年度分消費税資本的収支調整額 318,827 千円で、その全額を補てんしようとするものである。

(4) 第 5 条関係

旧簡易水道統合施設整備事業に係る企業債の限度額を 221,500 千円に定めるとともに、起債の方法、利率等について定めようとするものである。

(5) 第 6 条関係

議会の議決を経なければ流用することのできない経費について、職員給与費を 945,412 千円に、交際費を 200 千円に定めようとするものである。

(6) 第 7 条関係

たな卸資産について、その購入限度額を 68,300 千円に定めようとするものである。

8 予算説明書関係

(1) 収益的収入

第 1 款事業収益中、第 1 項営業収益は 5,099,974 千円で、このうち大宗を占める水道料金収入を 5,021,696 千円として予定しようとするものである。この水道料金収入を前年度予算額と比較すると 108,871 千円、率にして 2.22%の収入増として予定しようとするものである。第 2 項営業外収益は 1,488,147 千円で、その主なものは、簡易水道施設整備負担金等としての関係市負担金 201,499 千円を、長期前受金戻入として 1,276,250 千円を予定しようとするものである。第 3 項特別利益は 33,221 千円で、その主なものは、関係市負担金に 11,804 千円を、退職給付引当金戻入益に 9,634 千円を、長期前受金戻入に 5,575 千円及びその他特別利益に東京電力による賠償金 6,206 千円を予定しようとするものである。

(2) 収益的支出

第 1 款事業費用中、第 1 項営業費用は 6,043,299 千円で、前年度予算額と比較し 468,241 千円、率にして 8.40%の支出増として予定しようとするものである。営業費用を目別に分類すると、第 1 目原水及び浄水費については 1,086,612 千円を予定し、取水場、浄水場、送水関係施設の維持管理及び水質検査をしようとするものである。主な費用としては、19 名分の職員給与費をはじめ、17 節修繕費に 67,924 千円を計上し、構築物及び機械装置等の修繕を、24 節委託料に 442,648 千円を計上し、ろ過池の汚砂削取・汚砂洗浄・補砂作業、天日乾燥床等汚泥搬出業務、粉末活性炭注入管理業務及び浄水場運転管理業務等の委託を、27 節動力費に各施設の電力料として 211,437 千円を、28 節薬品費に粉末活性炭等購入費用として 141,781 千円を予定しようとするものである。第 2 目配水及び給水費については 1,262,971 千円を計上し、漏水防止対策など配・給水管及び配水関係施設の維持管理をしようとするものである。主な費用としては、60 名分の職員給与費をはじめ、17 節修繕費に 282,202 千円を計上し、構築物及び機械装置等の修繕を、24 節委託料に 324,517 千円を計上し、メ

ーター取替，漏水調査，図面管理情報データ入力業務等の委託を，26節道路復旧費に67,655千円を計上し，漏水修繕等による舗装復旧工事を，27節動力費に各配水施設の電力料として56,957千円を，29節材料費にメーター取替材料費等として54,744千円を予定しようとするものである。第3目受託工事費については35千円を計上し，凍結解氷業務に関連する経費を予定しようとするものである。第4目総係費については760,826千円を計上し，37名分の職員給与費をはじめ，水道事業全般に関連する経費と水道料金等徴収業務委託等を予定しようとするものである。第5目減価償却費については2,620,787千円を計上し，現有施設の減価償却を予定しようとするものである。第6目資産減耗費については312,068千円を計上し，山崎ポンプ場旧管理棟の解体工事をはじめ，将来的に使用見込みのない施設等の除却を予定しようとするものである。第2項営業外費用は196,846千円で，前年度予算額と比較し203,189千円，率にして50.79%の支出減として予定しようとするものである。その主なものは，現有施設の建設及び災害復旧費に係る企業債の支払利息121,846千円，消費税法に基づく仕入控除不能額としての雑支出57,000千円及び支払消費税額18,000千円を予定しようとするものである。第3項特別損失については54,996千円を計上し，災害復旧に係る経費等を予定しようとするものである。

### (3) 資本的収入

第1款資本的収入は，建設改良等に係る財源として914,728千円を予定しようとするものである。その主なものは，第1項企業債に旧簡易水道統合施設整備事業債として221,500千円を，第2項水道加入金に47,239千円を，第3項工事負担金に道路改良や下水道工事等に伴う配水管布設替工事費用の負担金として213,540千円を，第4項関係市負担金に災害復旧事業等関係市負担金として290,398千円を，第5項補助金に災害復旧事業等に係る国庫補助金として142,050千円を予定しようとするものである。

### (4) 資本的支出

第1款資本的支出においては，4,357,566千円を計上し，施設の建設改良及び現有施設の建設に係る企業債の元金償還金等を予定しようとするものである。その主なものは，第1項建設改良費の第1目災害復旧事業費で357,127千円を計上し，県道石巻雄勝線（原）配水管布設替工事等を，第2目旧簡易水道統合施設整備事業費で664,542千円を計上し，鮫浦ポンプ場築造工事等を，第3目改良費で2,601,291千円を計上し，道路改良・下水道工事等に伴う送・配水管の布設及び布設替工事をはじめ，給水改善，老朽化により漏水事故の絶えない配水管路の布設替工事等を予定しようとするものである。さらに，第4目メーター設備費に3,798千円を計上し，メーター新設費を，第5目固定資産取得費に10,550千円を計上し，小型貨物自動車等の購入を予定しようとするものであり，建設改良費総額では3,637,308千円となり，前年度予算額と比較すると984,502千円，率にして21.30%の支出減として予定しようとするものである。第2項企業債償還金には700,258千円を計上し，現有施設の建設に係る企業債等の元金償還を予定しようとするものである。

以下，予算の実施計画，予定キャッシュ・フロー計算書，給与費明細書，継続費に関する調書，債務負担行為に関する調書及び財務諸表等についての説明は省略する。